

平和祈念式典に参加して

坂井 結喜

七十三年前、広島は世界で初めて原子爆弾の被害を受けました。原子爆弾の熱線は千度以上で、町は破壊され、多くの方が命を落としました。平和記念式典には、被爆者、被爆者の遺族など、多くの方が参加してまいりました。原子爆弾と今の私たちと決別して無縁ではありません。日本の周りの多くの国は核兵器を保有しており、アメリカからは核の傘による守られていきます。いつでも七十三年前と同じ悲劇を起こしてしまう可能性があります。悲劇を繰り返さないために私たちは核や戦争について知らなければいけません。また、広島で被爆された方が今何をしていますか。皆さんは知っていますか。原子爆弾の放射線によって戦後にも多くの方が亡くなりました。生き残った方は原子爆弾が落とされた後の広島や身の周りのことを、全国をまわって語っています。あの七十三年前の悲劇を

